

令和4年度の寄附講義がスタート

四極会寄附講義「会社研究」令和4年度 第1回目

令和4年4月13日(水) 13時10分

講師 有限会社 グッド・P 代表 佐藤 安洋 (大学32回)

テーマ 「中小企業支援の仕事」

本年度第1回は、久々の対面での講義が行われ、経済学部の学生約200人が熱心に受講しました。

会社名「グッド・P」のPは、パートナー、プランナー、プロテクター(お守りする)の意味ということだそうです。

講師は、ご自身で会社を設立され、社会保険労務士、産業カウンセラー(働く人の心の健康)、保険コンサルタント(リスク管理)の三領域で仕事をされています。



講義の概要はつぎのとおりです。

- ・わたしのような兼業としての働き方は、これからのベシックとなるものであり、柔軟な働き方ではあるが、何らかの形で「プロ」になることが必要である。

- ・人生には4つの役割(4L)がある。Labor(労働)、Leisure(余暇)、Learning(学び)、Loveである。経営者にとってLoveとは、従業員に対する人間観である。これは、サニーハンセンの言葉であり、何よりもバランスが大切ということ。
- ・関係する法律等は、社会保険労務士法、労働基準法、産業カウンセラー協会倫理綱領、保険業法などであるが、いずれも第一条(目的)が大切。法律の全体像がわかる。



- ・労務管理支援の仕事は、採用、教育訓練、人事考課、人間関係、賃金、労働時間、労働衛生及び労使関係と多岐にわたる。
- ・最後に、企業の問題解決支援プロセスで、いつも念頭に置いているのは、関係構築→問題把握→目標設定→方策の実行である。皆さんにもこれを頭に入れておいてほしい。